

平成22年度

事業報告書  
収支決算報告書

## 平成 22 年度事業報告書

去る、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、我が国では広域にわたり未曾有の甚大な被害を受けた。さらに、本県では地震・津波の天災に加え、福島原発事故に見舞われ、放射能物質による汚染が継続する中で今なお多くの県民が避難生活を余儀なくしている。このような被害の拡大により、今回の大震災が我が国の経済全体を揺るがす兆しが見られ、今後本会の事業活動に大きな影響を及ぼすことが懸念される。本会の役員会も被災後の大混乱のため、従来実施してきた年度末に開催することができず、ずれ込まざるを得なかった。

また、この大震災により 3 月 23 日、24 日郡山市で開催が予定されていた第 62 回結核予防全国大会は中止となった。

さて、我が国においては、急激な少子高齢化とともに、がん、心臓病、脳卒中といった生活習慣病の割合が年々増加するなど、疾病構造の変化が進んでいる。このような背景から国は、平成 20 年度から「特定健康診査・特定保健指導」を医療保険者に義務づけ、疾病治療にとどまらない、健康増進、疾病予防に重点をおいた健康づくりの推進を強化した。

しかしながら、受診率は予想を大幅に下回る結果であり、これに伴い、結核検診・がん検診等においても受診率の減少が顕著に認められた。

こうした厳しい状況の中で、国の緊急経済対策の一環として昨年から開始された「女性特有のがん検診推進事業」、いわゆる乳がん・子宮がん検診対象者の一部に対する無料クーポン事業は一定の効果は認められたが、昨年ほどの受診者の増加は見られなかった。

このような中で、本会としては、困難な状況を職員一人ひとりが理解し、意識の改革を行い、地域に密着した質の高い健康づくり事業の推進と円滑な検診・検査サービスの提供にさらに取り組むとともに、平成 21 年度に引き続き効率的な事業運営に努めた。

## 1. 東日本大震災への対応

### (1) 被害の状況

幸い職員の命には別状がなかったが、本部、各地区センターにおいて施設や検査機器等に多大の被害を被った。現在は通常業務を行っている。しかし、南相馬市に所在する相双地区センターについては、窓口業務は再開したが、検診業務は本部で実施している。

### (2) 被災者支援

- ① 震災直後の放射線被曝線量測定へ放射線技師等の派遣
- ② 避難所罹災者の健康相談へ保健師の派遣
- ③ 緊急医療チームへ車両の提供
- ④ 避難所罹災者の無料健康チェック
- ⑤ 仮設住宅建設用土地の無償貸し出し（現在保留）

### (3) 義援金の受け入れ

日本がん協会をはじめ 13 の団体・個人から義援金が寄せられた。

## 2 協会の運営

### (1) 役員会等の開催

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| ① 理事会                          | 1 回 |
| ・ 第 123 回理事会（平成 22 年 5 月 26 日） |     |
| 平成 21 年度事業報告及び収入支出決算報告等        |     |
| ② 監事会                          | 1 回 |
| ・ 平成 22 年 5 月 18 日             |     |
| ③ 評議員会                         | 1 回 |
| ・ 平成 22 年 5 月 25 日             |     |
| 平成 21 年度事業報告及び収入支出決算報告等        |     |
| ④ がん基金審議会                      | 1 回 |
| ・ 平成 23 年 2 月日 16 日            |     |

### (2) 専門委員会の開催

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| ① 消化器集団検診精度管理委員会  | 1 回 |
| ② 子宮がん集団検診精度管理委員会 | 1 回 |
| ③ 肺がん集団検診精度管理委員会  | 1 回 |

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| ④ 循環器集団検診精度管理委員会  | 1 回 |
| ⑤ 学校保健集団検診精度管理委員会 | 1 回 |
| ⑥ 乳がん集団検診精度管理委員会  | 1 回 |
- (3) 事業推進会議 2 回
- (4) 上部団体並びに関係団体との会議及び大会
- ① (財) 日本対がん協会 がん征圧全国大会及び全国支部長会議  
(平成 22 年 9 月 9 日・10 日 於 福井市)
  - ② (財) 結核予防会 結核予防全国大会及び全国支部長会議 (中止)  
(平成 23 年 3 月 23 日・24 日 於 郡山市)
  - ③ (財) 予防医学事業中央会 全国大会及び全国運営会議  
(平成 22 年 10 月 21 日・22 日 於 長崎市)
  - ④ (財) 結核予防会東北北海道ブロック会議  
(平成 22 年 9 月 30 日 於 秋田市)
  - ⑤ (財) 日本対がん協会東北北海道ブロック会議  
(平成 22 年 10 月 22 日 於 青森市)
  - ⑥ (財) 予防医学事業中央会東北ブロック会議  
(平成 22 年 10 月 29 日 於 山形市)
  - ⑦ 東北 6 県検診機関懇談会  
(平成 22 年 10 月 28 日 於 山形市)
- (5) 関係機関との会議及び打合せ
- ① 市町村・郡市医師会健診事業関係会議
  - ② 福島県歯科医師会口腔健康診査事業打合せ会議
  - ③ 健康保険組合連合会福島連合会合同事務打合せ会議
  - ④ その他
- (6) 平成 22 年度楠賞及び本会永年勤続職員表彰式  
(平成 22 年 11 月 10 日 本会会議室)
- (7) 非常勤嘱託職員 (保健師・看護師等) 永年勤続表彰式  
(平成 23 年 1 月 20 日 福島市)

### 3 普及啓発活動

#### (1) 健康教育

##### ① 健康教育研究会の開催

平成 22 年 9 月 28 日、郡山市において市町村・事業所等の検診担当者を対象とした講演会を主催した。

##### ② 市町村が主催する健康づくり事業等に協賛し、医師・保健師・管理栄養士・運動指導士等を派遣するとともに、関係資料の提供や啓発資材の貸し出しを行った。

#### (2) 健康集会

福島県健康を守る婦人連盟との共催で、地区婦人組織を対象に県内 4 方部（福島市、石川町、南会津町、いわき市）で健康集会を開催した。

#### (3) 街頭キャンペーン

「結核予防週間」「がん征圧月間」にあわせて、結核とがんの予防思想普及啓発のため、「福島県健康を守る婦人連盟」「しゃくなげ会」と連携し、いわき市で街頭キャンペーンを実施した。

#### (4) 広報普及事業

##### ① 「結核予防週間」「がん征圧月間」の時期を中心に、新聞などの広報媒体を通じて、疾病予防に関する知識の普及に努めた。

##### ② 平成 22 年 7 月 31 日、福島市街なか広場で開催した「いきいき健康まつり」を主催し、当会の事業紹介及び健（検）診の受診率向上を目的とした普及啓発活動を協賛企業の協力のもと行った。

##### ③ 平成 22 年 9 月 4 日から 5 日にわたり、福島県立医科大学陸上競技場において開催された「リレー・フォー・ライフ 2010 in 福島」に主催団体として参加し、パネルディスカッションや検診車展示ブース、フラッグを繋いでの行進を通して、がん検診受診率向上のための普及啓発活動を行った。

#### (5) 共催事業

##### ① 平成 22 年 8 月 12 日、福島市で開催された「うつくしま県民健康大会」に共催団体として参加し、協会長表彰を行った。

##### ② 平成 22 年 10 月 30 日、福島ビューホテルで開催された福島県医師会主催「健康づくりフェスティバル」に参加し、健康測定コーナーやがん検診のミニ講座を開いた。

#### 4 検診・検査事業

疾病予防、健康の保持増進を願う県民の要望に応えるため、県、市町村、事業所等からの委託を受けて検診・検査を実施した。

実施にあたっては、実施主体の要望に的確に対応するため、精度管理の向上を図るとともに、受診率の向上、運営の効率化等に努めた。

本年度の各種検診、検査の実績は次のとおりである。

(21年度実績)

##### (1) 結核検診

① 学校保健	22,906人	( 23,843人)
② 地域検診	78,685人	( 84,610人)
③ 労働衛生		
ア 間接撮影	17,110人	( 17,613人)
イ 直接撮影	395人	( 514人)
④ 精密検診		
ア 精密検診	86人	( 88人)
イ 直接撮影	42人	( 58人)

##### (2) 胃がん検診

① 地域検診	61,216人	( 65,645人)
② 労働衛生	36,512人	( 40,164人)

##### (3) 子宮がん検診

① 子宮頸がん車検診		
ア 地域検診	24,666人	( 25,728人)
イ 労働衛生	3,028人	( 3,016人)
② 子宮がん施設検診		
ア 地域検診	55,008人	( 51,365人)
イ 労働衛生	1,419人	( 1,444人)
③ 子宮体がん施設検診	398人	( 367人)
④ 施設精密検診		
ア 組織診検査	504人	( 466人)
イ 細胞診検査	1,278人	( 1,123人)

##### (4) 肺がん検診

① 地域検診		
ア 肺がん検診 (喀痰)	7,505人	( 7,886人)
イ 肺がん検診 (肺野部)	135,245人	( 143,027人)
② 労働衛生		

ア	肺がん検診（喀痰）	2,222人	（ 2,284人）
イ	肺がん検診（肺野部）	69,271人	（ 76,327人）
(5)	乳がん検診		
①	地域検診	17,131人	（ 17,600人）
②	労働衛生	2,462人	（ 2,353人）
(6)	大腸がん検診		
①	地域検診	73,605人	（ 75,305人）
②	労働衛生	32,538人	（ 34,108人）
(7)	特定健康診査		
①	特定健康診査	93,497人	（ 96,720人）
②	特定保健指導	618人	（ 856人）
(8)	骨粗鬆症検診		
①	地域検診	12,430人	（ 12,885人）
②	労働衛生	563人	（ 816人）
(9)	臨床検査		
①	学校保健		
ア	寄生虫検査	98,539件	（ 99,754件）
イ	尿検査	189,219件	（ 196,422件）
ウ	心電図検査	83,380件	（ 85,300件）
エ	血液検査	33,017件	（ 35,784件）
オ	その他の検査	16,014件	（ 16,091件）
②	地域検診		
ア	血液検査	71,615件	（ 61,418件）
	・ P S A検査	20,136件	（ 19,356件）
イ	その他の検査	85,867件	（ 82,531件）
ウ	健康診査（含生活機能）	41,741人	（ 44,914人）
③	労働衛生		
ア	心電図検査	67,196件	（ 73,005件）
イ	眼底検査	42,173件	（ 44,298件）
ウ	尿検査	36,156件	（ 37,698件）
エ	血液検査	212,947件	（ 230,915件）
オ	健康診断	66,320件	（ 69,798件）
カ	血圧測定	33,605件	（ 34,186件）
キ	聴力検査	51,744件	（ 54,600件）
ク	健康保持増進事業	3,781件	（ 5,927件）

ケ	その他の検査	93,393件	( 96,679件)
④	特殊健診		
ア	有機溶剤健康診断	6,692件	( 7,606件)
イ	鉛健康診断	785件	( 697件)
ウ	じん肺健康診断	249件	( 202件)
エ	騒音健康診断	795件	( 737件)
オ	VDT健康診断	8,373件	( 10,179件)
カ	その他の検査	3,034件	( 3,233件)
⑤	保菌検査	22,063件	( 24,374件)
⑥	医療機関からの受託検査		
ア	一般臨床検査	7,959件	( 12,665件)
イ	病理組織診検査	2,861件	( 2,952件)
ウ	細胞診検査	23,847件	( 23,553件)
⑦	母子保健		
ア	先天性代謝異常等検査	18,884件	( 18,038件)
(10)	口腔健康診査（歯周病検診）		
①	地域検診	403人	( 565人)
②	労働衛生	1,008人	( 21人)
(11)	健康づくり事業		
①	健康づくり事業	93件	( 145件)
②	総合健康管理受託事業	5件	( 5件)
(12)	理化学分析事業		
①	水質検査	6,749件	( 6,759件)
②	大気測定	556件	( 680件)
③	食品検査	9,822件	( 9,780件)
④	環境衛生	6,124件	( 6,411件)
⑤	環境調査	0件	( 1件)
⑥	作業環境測定	175件	( 192件)

## 5 図書及び教育資材の斡旋

結核予防会等が発行する出版物などを県、市町村及び医療機関等へ斡旋し、結核に関する新しい情報の提供に努めた。

## 6 複十字シール運動

結核予防思想の普及と、結核及び肺がんの根絶を目的とした事業資金確保のために、関係機関の協力を得て「複十字シール募金運動」を展開し、次のとおり成果を得た。

運動期間	平成 22 年 8 月 1 日～12 月 31 日
募金実績額	3,171,131 円

## 7 がん基金事業

がん基金事業として、がん予防対策のための思想普及啓発事業（啓発冊子の作成、新聞広報）及びがん予防思想普及団体への助成を実施した。

なお、平成 22 年度末における基金額は、267,286,891 円である。

## 8 総合健診センターの運営

結核の健康診断と治療、胃がん、子宮がん、大腸がん等の集団検診後における精密検診、健康診断を実施するとともに、「人間ドック」「協会けんぽ生活習慣病予防健診」等の健康診断を実施し、被保険者及び被扶養者の健康の保持増進に努めた。

		(21 年度実績)
① 人間ドック	3,504人	( 3,656人)
② 結核検診	51人	( 80人)
③ 二次精検	1,557人	( 812人)
④ 健康診断	7,232人	( 5,418人)
⑤ 予防接種等	3,002人	( 1,876人)

## 9 事後管理指導

各種集団検診にかかる事後管理指導は、市町村や事業所の保健師、検診担当者等との連携と協力のもとに実施した。

また、集団検診の諸統計をとりまとめ、市町村、関係機関・団体等に資料として提供した。

## 10 調査研究・研修

職員の資質向上と技術の習得のため、全国規模の技術研修会・大会、学術研修会等に積極的に参加させるとともに、学会発表等を行い資質の向上と専門技術の研鑽に努めた。

## 11 施設・設備の整備

### (1) 集団検診車及び車輛関係の整備

① 医師送迎車	1台	2,089,114円
② 検体運搬車	1台	1,466,667円

### (2) 検診・検査機器等の整備

検診・検査機器の更新及び精度の向上、効率化を図るための什器備品等の整備を図った。

超音波診断装置	他	33件	60,504,740円
---------	---	-----	-------------

### (3) 建物及び構築物の整備

昇降機改修工事	他	2件	6,135,000円
---------	---	----	------------

### (4) ソフトウェアの整備

ホームページのリニューアル	他	2件	5,024,356円
---------------	---	----	------------